

この製品は、緊急時の避難用キャリアです。
長時間は使用しないでください。

装着する人や、介添えする人を事前に決めておき、避難訓練の際に装着方法を必ず確認・練習しておきましょう。

避難くん 避難用 3人抱きキャリア 取扱説明書

- 3人同時に保持できる避難用抱っこひも
- 防災加工生地使用
- 首がすわって～約10kgまで(1人あたり)



審査委員長特別賞受賞!



子どもの手の届かないところに吊り下げて管理してください。



-着用時の様子-

セット内容：本体・収納袋・取扱説明書
素材：ポリエステル 100% (表生地に防災素材使用)
品番：01-091

ご使用前に必ずお読みください

子どもの安全のため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

⚠️落下・窒息の危険性

- ・子どもが開口部から落下する恐れがありますので身体を傾ける(前かがみ)際は子どもを手で支え、頭が下向きにならないよう膝を曲げてください。
- ・調節具は確実に留め、子どもの体型に合わせて調節してください。
- ・子どもの気道をふさぐことのないよう、子どもの状態に注意しながらご使用ください。

⚠️装着脱時の注意

- ・製品の着脱は必ず安全な場所で低い姿勢で行ってください。
- ・保持者ひとりでも装着できますが、第三者の方に介添えていただいた方がより安全です。
- ・子どもが落下する恐れがありますので、各部のパックルがしっかりと留められている事を確かめてください。
- ・1箇所でも調節具が破損したり、生地や糸にほつれ、やぶれ、傷などが生じた場合には、ケガや誤飲の恐れがありますので絶対に使用しないでください。また、装着後も調節具やテープにゆるみがないかお確かめください。

⚠️使用上の注意

- ・子どもを支えるために必ず手を添えてください。
- ・ご使用中は子どもの頭で前方や足元の視界が妨げられないようご注意ください。
- ・バックルの開口部に子どもの指や手を入れたり、バックル等の部品に挟まないようご注意ください。
- ・ベルト先端の三つ折りは、ほどこり切り落としたりしないでください。
- ・この製品は長いベルトを使用しているため、誤ってベルトが巻きつくなど窒息の恐れがありますので、子どもが引っ張ったり振り回すなどしないよう十分にご注意ください。
- ・体調がすぐれない時や、身体に痛みを感じた場合はご使用をおやめください。
- ・自転車やプランコなどの乗り物に乗ったり、両手の自由を奪われるような動作は絶対におやめください。
- ・製品を使用しない時は収納袋に入れ、子どもの手の届かないところに保管してください。

お手入れ方法

- ・中性洗剤を使用し、洗濯ネットに入れて「弱」や「手洗い」などで洗濯してください。
- ・漂白剤のご使用はおやめください。
- ・蛍光剤入りの洗剤は移染の恐れがありますので使用しないでください。
- ・色落ちすることがありますので、他のものとは別に洗ってください。また、つけ置き洗いはおやめください。
- ・現在の染色技術では、汗や摩擦による多少の脱色や移染は避けられませんがあらかじめご了承ください。また、収納袋の印字部分が移染する可能性がありますので、他のものと重ねずに吊り下げて保管してください。

- 予告なしに多少の仕様が変更することがあります。
- 製品には万全を期しておりますが、万一異常が認められましたら直接販売元、または製造元までご連絡ください。

材質・部材は十分に選別しておりますが、経時劣化は避けられません。使用頻度にもよりますが、**使用開始から約3年を耐用年数としてお考えください。**取扱説明書なしで第三者に譲ったり貸したりしないでください。また、取扱説明書や注意事項を読まずに使用された場合には賠償責任保険が適用されない事もありますのであらかじめご注意ください。



日本製

日本エイテックス株式会社

〒113-0022 東京都文京区千駄木4-11-10
<https://www.eightex.co.jp/>

商品に関するお問い合わせは下記まで
商品センター

048-922-0003

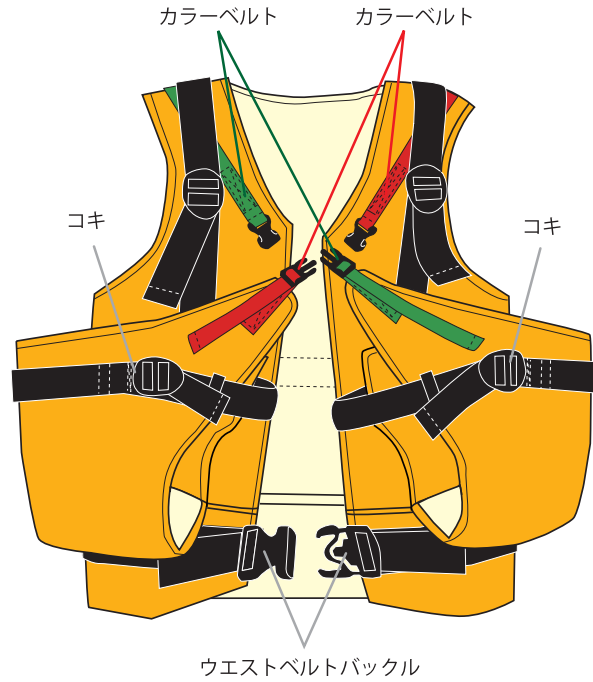
受付時間 9:00～17:00 (平日のみ)

〒340-0031 埼玉県草加市新里町 238-1



***危険が伴いますので
必ず第三者の方に介添え
していただいでください。**

- 各部の名称 -



- 使用方法 -

1. 保育者がベストを装着する。
2. ウエストベルトバックルを留め、保育者の腰サイズにあわせてしっかりベルトを調節する。
3. 第三者に介添えしてもらいながら、子どもをおんぶする。
4. 子どもの大きさに合わせて、両肩にあるベルトでおんぶの位置を調節する。
5. サイド抱きの片方に子どもを入れる。その際、カラーベルトは子どもの脇の下を通すようにする。
6. カラーベルトを保育者の胸の前で交差するようにして、同色のカラーベルトのバックルを留め、ベルトで位置を調節する。
7. 逆サイドも同様に子どもを入れ、カラーベルトのバックルを留める。
8. 子どもの様子を見ながら、サイド抱きのコキで位置を調節して安定させる。

